

令和7年度 市民後見人養成講座 学事報告

講座の概要および履修状況

1. 講座の概要

- ・ 講座の目的：地域において後見人として活動するために必要な知識と経験を習得する
- ・ 開催期間：令和7年10月25日～令和8年3月14日
- ・ 講座内容：座学(45時間) + 実習(15時間)
合計60時間

2. 履修の状況

- ・ 受講者数：136名
- ・ 修了者数：128名
- ・ 修了率：94% (過去5年の平均90%)

講座における学習内容

第1ターム：成年後見の基本的な制度・理念・背景に関する学習

1. 日本の高齢社会

- ・高齢社会の現状、あり方



2. 成年後見の制度・法律

- ・後見制度概論
- ・任意後見制度
- ・法定後見制度
- ・市民後見概論



第2ターム：対象者理解や後見関連制度に関する学習

1. 対象者の理解と接し方

- ・高齢者の理解
- ・対人援助の基礎
- ・認知症の理解
- ・精神・知的障がいの理解

3. 地域福祉と権利擁護

- ・障がい者の権利・福祉、差別解消と虐待防止
- ・地域福祉と共生社会



2. 成年後見に関する制度・法律

- ・年金制度
- ・介護保険制度
- ・生活保護制度
- ・民事信託
- ・税務申告

4. 民法の基礎

- ・財産法の基礎
- ・契約・後見人の権利
- ・家族法の基礎
- ・（相続）



第3ターム:後見実務に関する学習・演習・討論

1. 成年後見の実務と事例

- ・後見人の実務
- ・後見活動の事例
- ・財産管理と身上保護の実務

2. 後見関連機関の役割と実務

- ・家庭裁判所の役割
- ・市町村の取り組み

3. 後見等に関する討論

- ・グループワーク

4. 総括的講義

- ・理解度確認テスト
- ・成年後見の課題と展望



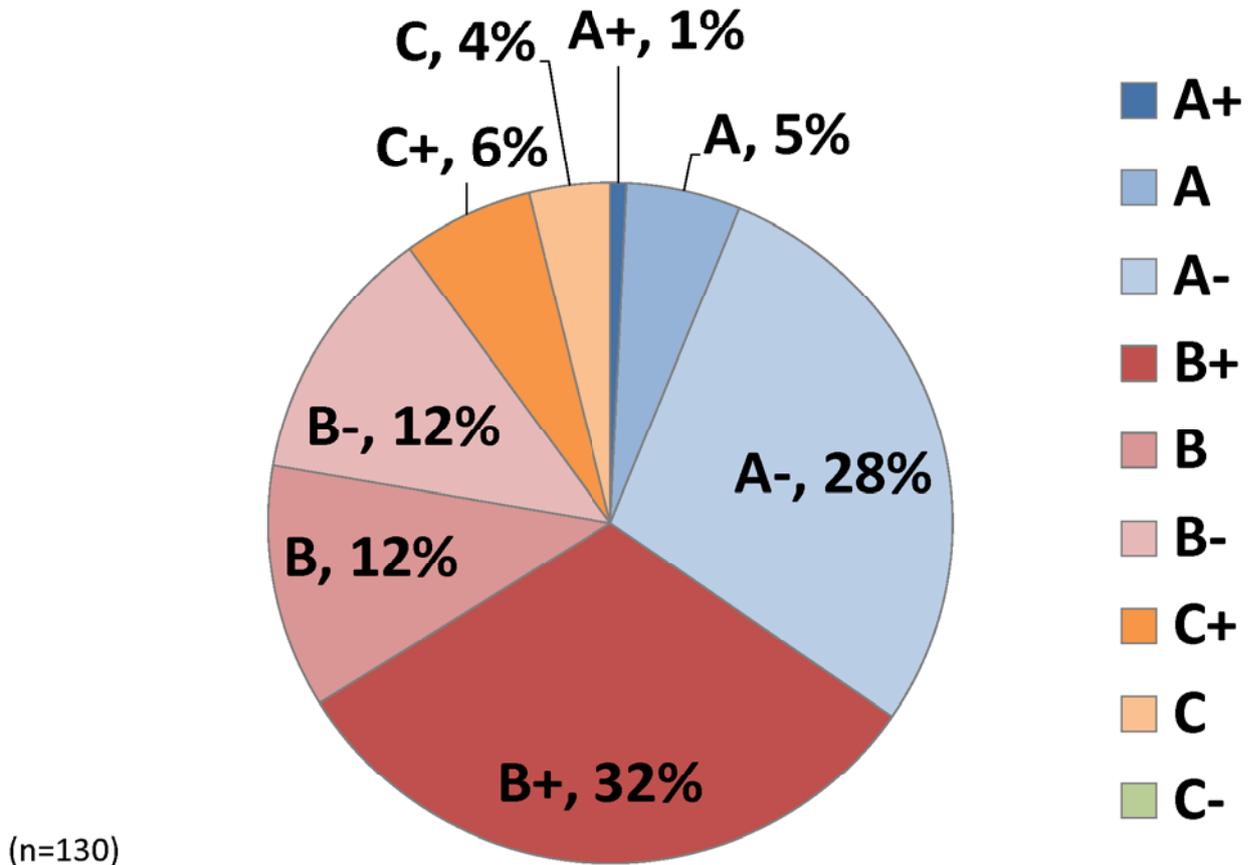
第1～3ターム:体験実習等を通じた実践的経験

・実習課題

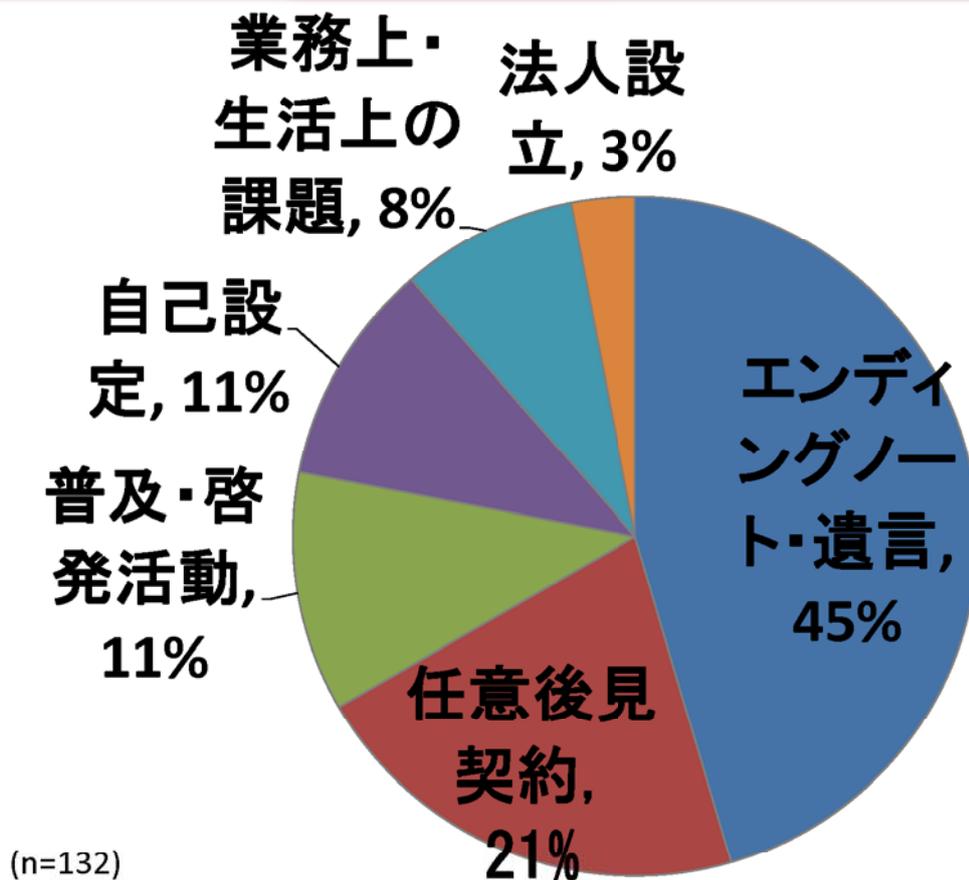
- ・選択課題
後見に関連する課題の実施
- ・後見実務演習
後見開始申立書等の作成



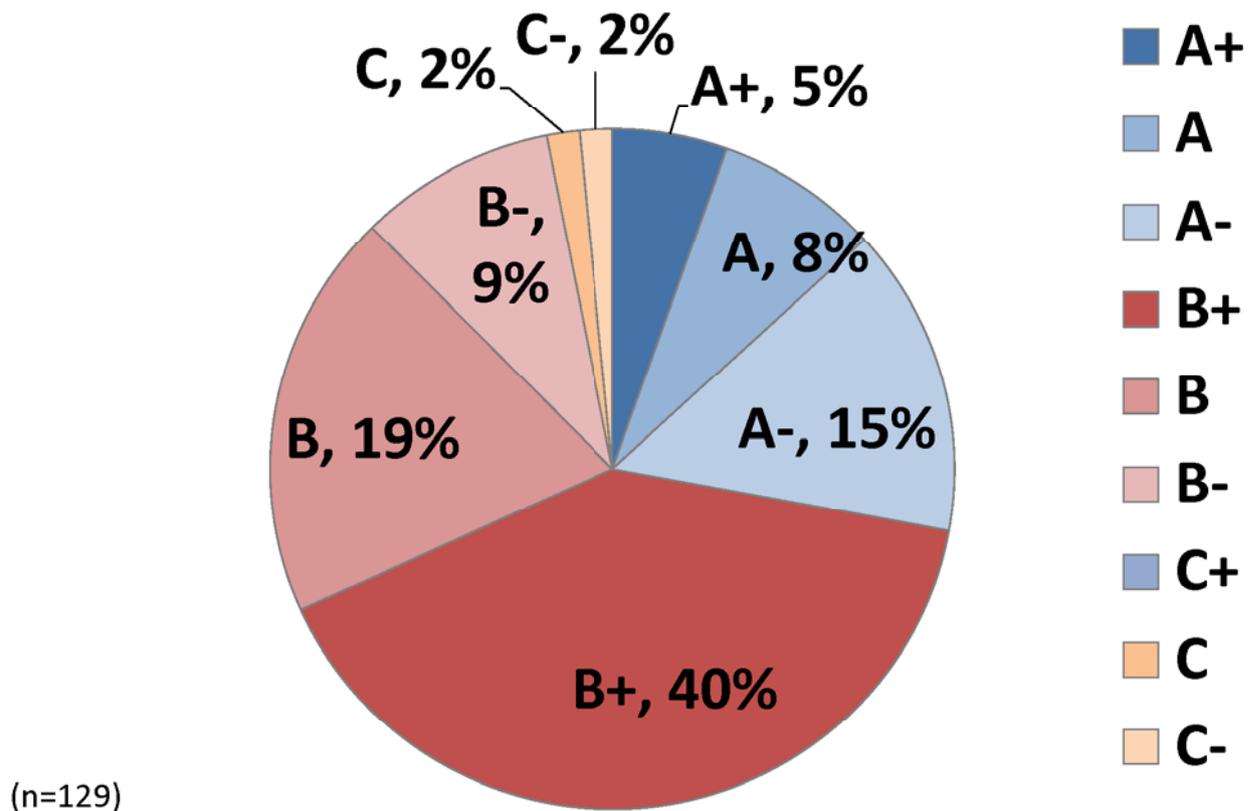
後見実務演習の評価



選択課題の種類



選択課題の評価



理解度確認テストの結果

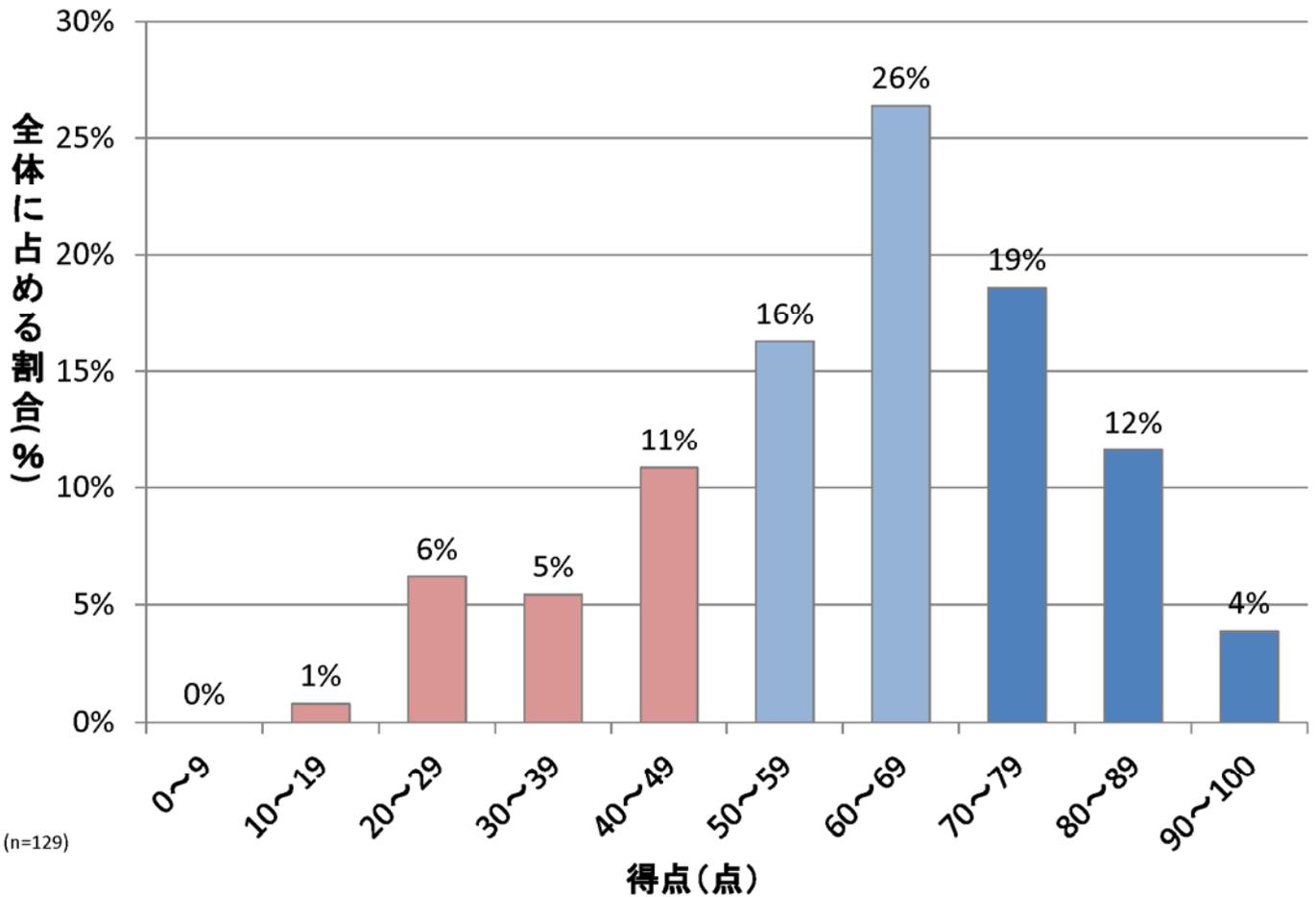
1. 平均点等

- 平均点 : 61点 (過去5年の平均: 60点)
- 最高点 : 92点
- 最低点 : 14点

2. 達成度

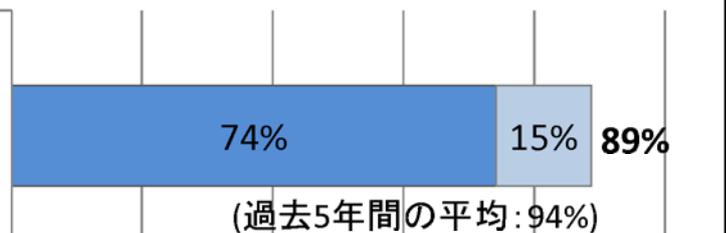
- 及第点 (50点以上) の割合 : 77% (5年平均75%)
- 合格点 (70点以上) の割合 : 34% (5年平均26%)

理解度確認テストの得点分布



講座を通じた成果に関する肯定的回答(「そう思う」+「ある程度そう思う」)の割合

⑪講座を通じて知的に刺激され、さらに発展的に学習したくなった。



⑫講座を通じて社会的意識を刺激され、社会活動を行う意欲が受講前よりも強くなった。



⑬講座を通じて、後見制度に関する知識と技術を十分に習得することができた。



(n=63)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

⑭全体として講座の内容を評価すると、100点満点で何点になりますか。

(平均88.7点：過去5年の平均 87.7点)

